

日本産業教育学会第 58 回大会 プログラム

— 目次 —

1. 大会要項	1
2. シンポジウム	5
3. 専門部会①	6
4. 自由研究発表①	8
5. 自由研究発表②	11
6. 専門部会②	13
7. ラウンドテーブル	14
8. 見学会	15
9. 大会会場へのアクセス	16
10. 宿泊について	17
11. 会場案内図	18

1. 大会要項

(1) 大会日程・会場

日程：2017年9月30日（土）～10月2日（月）

会場：2017年9月30日（土）・10月1日（日）

大阪工業大学梅田キャンパス「OITタワー」

（〒530-8568 大阪市北区茶屋町1-45）

2017年10月2日（月）

MRO Japan 株式会社 [ANA 機体整備工場]

（大阪府豊中市）

(2) 大会スケジュール

全国理事会 9月30日（土） 大阪工業大学梅田キャンパス

時間	内容（会場）
11:00～12:30	全国理事会（2階 セミナー室201）

大会1日目 9月30日（土） 大阪工業大学梅田キャンパス

時間	内容（会場）
12:00～	受付（2階 受付）
13:00～13:20	会場校挨拶（3階 常翔ホール）
13:20～15:50	シンポジウム（3階 常翔ホール）
16:00～17:30	総会（3階 常翔ホール）
17:30～18:30	専門部会① 専修学校部会（2階 セミナー室204） 企業内教育部会（2階 セミナー室201） 若手研究者部会（2階 セミナー室202）
18:30～20:00	懇親会（21階 リストランテ翔21）

大会2日目 10月1日（日） 大阪工業大学梅田キャンパス

時間	内容（会場）
9:00～	受付（2階 受付）
9:30～11:45	自由研究発表①（2階 セミナー室201～204）
11:45～13:00	昼食
13:00～14:55	自由研究発表②（2階 セミナー室201～204）
15:00～16:30	専門部会② 企業内教育部会（2階 セミナー室203） 高校職業教育部会（2階 セミナー室204） ラウンドテーブル（2階 セミナー室202）

大会 3 日目 10 月 2 日 (月) MRO Japan 株式会社 (大阪府豊中市)

時間	内容 (会場)
9:30~11:30	ANA 機体整備工場見学 (MRO Japan 株式会社)

(3) 参加費・懇親会費

	種別	事前申込	当日申込
参加費	会員	3,500 円	4,000 円
	一般	4,000 円	4,500 円
	一般 (シンポのみ)	—	500 円
	院生・学生	2,000 円	2,500 円
懇親会費	会員・一般	5,000 円	
	院生・学生	3,000 円	

(4) 事前参加申込方法

以下の①・②のお手続きが済みました段階で、お申込みが完了となります。
事前申込期限：9 月 15 日 (金)

- ① 本プログラムに同封いたしました事前参加申込書に必要事項をご記入のうえ、大会事務局にご郵送いただくか、電子メールに添付して送信してください。メールの件名は「事前参加申込・お名前」としてください。

事前参加申込書は、学会サイト (<http://www.jssvte.org/>) からダウンロードすることができます。

【宛先】 〒535-8585 大阪府大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学教職教室
疋田 祥人

E-mail : 58taikai@gmail.com

- ② 本プログラムに同封いたしました払込取扱票にて、下記の大会口座に参加費および懇親会費をお振込みください。

ゆうちょ銀行

口座番号 00960-0-210732

口座名義 日本産業教育学会第 58 回大会

【ゆうちょ銀行以外からのお支払】

銀行名：ゆうちょ銀行 (金融機関コード：9900)

店名：〇九九 (ゼロキュウキュウ) 店 (店番：099)

預金種目：当座預金

口座番号：0210732

※ 見学会は、事前に名簿を提出する必要があるため、学会員で、事前申込をされた方のみとさせていただきます。

※ 懇親会は当日参加でも同額ですが、なるべく事前申込をお願いいたします。

※ 学会員以外の方でシンポジウムのみ参加の方は、事前申込は不要です。

(5) 自由研究発表について

- ① 個人研究・共同研究発表ともに、1件の発表時間は20分、質疑5分です。また、各分科会ともすべての発表・質疑終了後に、総括討論を行っています。
- ② 自由研究発表では、経過時間を知らせるためにベルを鳴らします。15分で1鈴、20分で2鈴、25分で3鈴の合図を鳴らします。
- ③ 発表辞退が生じた場合でも、発表時刻および発表順序の変更は行いません。
- ④ 研究発表用の配布資料は、各自で必要部数（50部以上）を持参してください。資料の事前送付などはトラブルのもとになりますのでご遠慮ください。なお、大会事務局では、資料の印刷は行いません。
- ⑤ 発表者は、開始時刻10分前に会場に入り、プロジェクタの動作確認などを行ってください。
- ⑥ 各会場には、ノートPC（OS：Windows7またはWindows8）が準備されており、プレゼンテーションソフトは、Microsoft PowerPointがインストールされています。また、ご自分で用意したノートPCを接続してプロジェクタに資料等を投影することができます。その場合のコネクタはVGA端子です。

(6) 専門部会・ラウンドテーブルについて

- ① 各専門部会およびラウンドテーブルの内容や進行は、部会長や企画責任者に一任していますが、時間内で終わられるようご協力をお願いいたします。
- ② 各部会長および企画責任者は、発表用資料等の必要部数などは、あらかじめ発表者にご案内いただきますようお願いいたします。大会事務局では、資料の印刷は行いません。
- ③ 各会場には、ノートPC（OS：Windows7またはWindows8）が準備されており、プレゼンテーションソフトは、Microsoft PowerPointがインストールされています。また、ご自分で用意したノートPCを接続してプロジェクタに資料等を投影することができます。その場合のコネクタはVGA端子です。

(7) 全国理事会について

大会1日目（9月30日）の11時00分から12時30分まで、2階のセミナー室201にて開催します。学会理事の方はお集まりください。

※ 例年よりも開始時刻が早くなっておりますので、ご注意ください。

(8) 総会について

大会1日目の16時00分から17時30分まで3階の常翔ホールにて行いますので、会員の方はお集まりください。

(9) 懇親会について

大会1日目の18時30分から20時まで、最上階にある「リストランテ翔21」にて行います。大阪梅田の夜景も楽しむことができますので、是非ともご参加ください。

(10) 昼食

大会期間中の昼食については、大会事務局で手配いたしません。会場建物内および会場付近には、飲食店やコンビニエンスストアが多数ありますので、各自でお召し上がりください。

(11) 本部・控え室

大会本部および控え室は、大会当日にご案内いたします。

(12) 連絡先

日本産業教育学会第58回大会事務局（担当：疋田祥人）

〒535-8585 大阪府大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学教職教室内

電話：06-6954-4359

Fax：06-6957-0610（疋田宛とご明記下さい）

E-mail：58taikai@gmail.com

2. シンポジウム

9月30日(土) 13:20~15:50

3階 常翔ホール

(1) テーマ

産業教育のための教員・指導員の現状と課題

(2) 報告者と報告仮題

① 「高校工業教育の教員と教員養成の現状と課題」

疋田 祥人 (大阪工業大学)

② 「企業内教育訓練指導員の現状と課題」

川端 吉広 (三菱日立パワーシステムズ株式会社)

③ 「公共職業教育訓練の指導員と指導員養成の現状と課題」

砂田 栄光 (茨城職業能力開発センター)

(3) 司会

伊藤 一雄 (高野山大学名誉教授)

(4) 企画趣旨

天然資源の乏しい日本にとって、人的資源は国力を維持・発展していくための礎であるといえる。これは、産業分野についても例外ではない。否むしろ、日本の産業技術を継承し、それを発展させていくためには、産業を担う人材の育成・確保はきわめて重要な課題といえる。

そして、産業を担う人材育成・確保のためには、その人材育成を担う学校の教員および企業内教育訓練や公共職業教育訓練の指導員の資質や力量、およびそれらの養成システムがさらに重要となる。

本学会では、こうした産業を担う人材の育成・確保のためには、その人材育成・確保を担う教員や指導員の問題が鍵になるとの見方から、2015年の第46回大会(東京学芸大学)において、「産業教育は2007年問題にどう立ち向かうかー教員・指導員の現状と養成問題ー」と題するシンポジウムを行い、主として2007年問題、すなわち団塊の世代が大量に退職することにより、企業内教育訓練および公共職業訓練、工業高校の教員や指導者層がいなくなるという問題について議論した。

今回の大会では、その後、10年が経過した現在、企業内教育・訓練および公共職業訓練、工業高校の教員や指導者の問題はどのように変化したのかという視点に立ち、現在の企業内教育訓練や公共職業訓練の指導員、および工業高校の教員の現状を把握し、今度の課題を明確にしたいと考える。

3. 専門部会①

9月30日(土) 17:30~18:30

【専修学校部会】

2階セミナー室 204

内容①

テーマ： 専門学校 IR 充実した学校生活を送るための新入生対象アンケートの集計と分析

発表者： 日本電子専門学校 副校長 船山世界

概要： 情報系専門学校で新入生を対象とする独自のアンケート(満足度調査)を開発し、入学後4ヵ月を経過した時点で実施した結果から、学校生活の満足度に影響を与える潜在因子を調査分析する。

内容②

テーマ： 事例発表 「専門学校広島自動車大学校」

発表者： 古澤 宰治

司会担当： 平田真一 (中国デザイン専門学校)

【企業内教育部会】

2階セミナー室 201

テーマ： 今後の部会運営について

形式： 拡大事務局会議

概要： 今後の方針について、話し合います。部会メンバーはもちろん、部会員以外の方も自由に参加できます。

【若手研究者部会】

2階セミナー室 202

テーマ： 若手研究者の集い「これからの産業教育学研究における研究課題の検討」

形式： 研究紹介と意見交流（参加者の自己紹介含む）

司会： 柴沼俊輔（宇都宮大学非常勤）

コメント： 京免徹雄（愛知教育大学）

研究紹介： 朴雪梅（千代田短期大学非常勤・NPO アシストキャリア）

森加奈枝（北九州工業高等専門学校特命助教）

概要： 若手研究者部会では、若手研究者をとりまく厳しい状況に対して、若手研究者同士の緩やかな繋がりを形成することを通して、新しい研究のプラットフォームを築き、研究の質や研究に対するモチベーションを高めることを目指しています。大会では、学生や院生、比較的研究歴の浅い研究者を対象としたラウンドテーブルを企画しています。今年度は、修士課程卒業後、それぞれのフィールドで活躍しながら研究を続けられているお二人の若手研究者の研究紹介を受けて、これからの産業教育学研究のあり方について検討します。

4. 自由研究発表①

【分科会 A：専修学校】

10月1日（日） 9:30～11:20

2階セミナー室 202

9:30～ 9:55

A-1 戦前期美容師養成制度について

－全国理髪営業取締規則調査報告－

倉田 研一（名古屋大学大学院・院生）

9:55～10:20

A-2 専門分野と関連のない領域で働く専門学校卒業者の「その後」

佐藤 昭宏（ベネッセ教育総合研究所）

10:20～10:30 休憩

10:30～10:55

A-3 専門学校におけるリカレント教育の実態

－大卒社会人の医療系専門学校での学び直しに焦点をあてて－

滝沢 哲也（福岡大学大学院）

10:55～11:20 総括討論

9:30～ 9:55

- B-1 フランスの職業高校における高等教育進学者増加とその対策
夏目 達也（名古屋大学）

9:55～10:20

- B-2 北欧における職業教育・訓練の最近の動向（その5）
ーデンマーク・フィンランドの近年の改革の特徴ー
沼口 博（大東文化大学）
横山 悦生（名古屋大学）

10:20～10:30 休憩

10:30～10:55

- B-3 アメリカのハイスクールにおける職業教育の特徴
ーテック・センター（tech center）における実践を中心にー
石嶺 ちづる（国際学院埼玉短期大学）

10:55～11:20

- B-4 上海市の中等教育段階学生における職業価値観の現状と特徴
陸 素菊（華東師範大学）

11:20～11:45 総括討論

【分科会 C : 技術・職業教育の歴史】

10月1日(日) 9:30~11:45
2階セミナー室 204

9:30~ 9:55

C-1 菅井準一と科学教育・技術教育
丸山 剛史(宇都宮大学)

9:55~10:20

C-2 戦前の商業学校における修学旅行の変容とその意味
—名古屋商業学校の事例を中心に—
徐 真真(名古屋大学大学院・院生)

10:20~10:30 休憩

10:30~10:55

C-3 昭和初期岐阜県に於ける木工による手工教育の実践
齊藤 暁子(名古屋大学大学院)

10:55~11:20

C-4 アジア・太平洋戦争末期の国定教科書『高等科農業』に見る経験単元学習型農業実習の展開
坂口 謙一(東京学芸大学)

11:20~11:45 総括討論

5. 自由研究発表②

【分科会D：産業と企業内教育訓練】

10月1日（日） 13:00～14:55

2階セミナー室 203

13:00～13:25

D-1 日本の前途と産業教育を考える

－日本の産業力高揚への議論を－

櫻井 博行（芝浦工業大学／茨城工業高等専門学校・非常勤）

13:25～13:50

D-2 世代間共生と共創をめざした今後の企業内教育について

－16年10月企業内教育部会・江幡講演をトリガーとした、より多角的な考察・議論への提案－

片山 勝己（マツダ株／放送大学教養学部・学生）

13:50～14:15

D-3 JAL 再生を先導した哲学・教育プラットフォーム

金井 文宏（立命館大学 OIC 総合研究機構稲盛経営哲学研究センター）

谷口 悦子（立命館大学 OIC 総合研究機構稲盛経営哲学研究センター）

14:15～14:40

D-4 ビジネス分野における職業能力のチューニング

－「職業能力評価基準」を中心として－

江藤 智佐子（久留米大学文学部情報社会学科）

14:40～14:55 総括討論

【分科会 E : 専門高校】

10月1日(日) 13:00~14:55

2階セミナー室 204

13:00~13:25

E-1 工業科教員の欠員・過員問題と養成

渡部(君和田) 容子(近畿大学)

13:25~13:50

E-2 高等学校工業科の教員養成制度の検討

吉田 等(名古屋大学大学院・院生)

13:50~14:15

E-3 専門高校におけるデュアルシステムの課題

河野 真由(東京都立葛西工業高等学校)

14:15~14:40

E-4 1990年以降の水産高校改革と水産教育の現状

—高校改編期における青森県、福岡県、福井県、東京都の事例より—

井上 真求(京都府立大学大学院・院生)

14:40~14:55 総括討論

6. 専門部会②

10月1日（日） 15:00～16:30

【企業内教育部会】

2階セミナー室 203

テーマ： 中小企業における技能者養成の今日の問題点と今後の課題－航空宇宙機器部品製造業の観点より－

形式： 講演と対談

講演者： 西川篤志氏（熱田起業株式会社・生産技術課課長）

企画趣旨： 厚生労働省「ものづくりマイスター」に認定された西川氏をお招きし、効果的な技能の継承や後継者の育成など問題点と今後の課題を講演していただきます。

【高校職業教育部会】

2階セミナー室 204

テーマ： 高校職業学科における専門教育の内容と教員養成について－工業科の教育内容と教員養成の問題を事例として－

形式： 事例発表

発表者： 鹿児島大学名誉教授 長谷川雅康 他

概要： 科学研究「高校工業科における実習教育の内容等の歴史的分析和教員養成に関する実証的調査研究」の研究成果を報告し、高校工業学科の教育内容とそれを担保しうる教員養成に関わる諸課題について研究協議する。

7. ラウンドテーブル

10月1日(日) 15:00~16:30

【ラウンドテーブル①】

2階セミナー室 202

テーマ： 高専（高等専門学校）について語り合おう～「高専輸出」をトリガーワードとして

話題提供者： ①片山勝己（マツダ㈱勤務、放送大学学生）

②干梅（江蘇省建築職業技術学院・名古屋大学外国人研究員）

コメンテーター： 依頼中

司会： 片山勝己

企画趣旨： 高専は中学卒業者の0.5%のみが進学する、日本の学校制度において極めてマイナーな学校種別である。時々、新聞や大衆雑誌に高専の利点・優位性を主張する記事¹が掲載されている。また、大学・短大に比べ就職率の良さや、ロボコンに代表されるような、独創的な技術者力、そして最近では高専からの有名大学への編入学実績の良さも指摘されている。

しかし、これらは受験勉強体制の弊害を伴う、一般的な高校・大学コースの対極として高専を取り上げられている場合が多い。よって、正しい報道ではあるが、誇張表現がされている可能性がある。すなわち、高専の利点・優位性の真偽を当該記事だけから判断することはできない。

上段の点を学術的に検証する方法として、比較研究が有益である。そこで本ラウンドテーブルでは、日本の高専の特徴と強み、さらにはその問題点や課題を、国際比較研究の観点で議論・意見交換することを試みる。

本ラウンドテーブルのトリガーワードとして「高専輸出」を取り上げる。これは2013/7/19付日本経済新聞電子版²に「「高専」アジアに輸出官学連携、12カ国の大学に」との記事タイトルで用いられたセンセーショナルな用語である。同記事では、日本の高専制度または高専的教育手法を海外に展開することが、2013年から日本やアジアの大学、研究機関で構成する教育組織「アジア高度専門職人材育成ネットワーク（APEN）」（東京・品川、会長・石島辰太郎・産業技術大学院大学学長）により既に検討・試行されていることを紹介している。

高専関係者や高専研究者、さらにはそれ以外の本ラウンドテーブル・テーマに興味・関心を持つ各学会員の参加を得て、活発で有意義な議論・情報/意見交換をしたい。

1) その一例として、サンデー毎日2017年4月23日に掲載された「[高等専門学校] 地味にスゴイ！ 高専から難関大、人気企業へ！」との記事を指摘できる。

2) http://www.nikkei.com/article/DGXNASFS19005_Z10C13A700000/

8. 見学会

見学先：MRO Japan 株式会社 [ANA 機体整備工場] (大阪府豊中市)

集合日時：10月2日(月) 9時30分 【終了時刻：11時30分(予定)】

集合場所：阪急宝塚線「豊中」駅南改札口

[アクセス] 阪急「梅田」駅から急行で10~11分程度

※ 集合後、タクシーに分乗し工場に向かいます。個々での入場はできないので遅れないようにしてください。

【参加条件】

- ① 学会員で、事前申込みをされた方。(事前に名簿を提出し、提出後の増員は出来ません。)
- ② 長時間の構内歩行、階段の昇降に支障の無い方。(工場の制約から、車椅子等使用での見学は出来ません。)
- ③ 工場スタッフの指示に従って団体行動の出来る方。
- ④ 以下の【注意事項】に同意していただける方。

【注意事項】

(1) ご了承いただく事項

- ① 機体整備計画の変更等により航空機が見学できない場合があります。
- ② 操縦席・機内(客室)の見学は出来ません。
- ③ 工場内では、喫煙できません。

(2) 安全のためにお守りいただく事項

- ① 飛行機見学中は全員、ヘルメットを着用していただきます。
- ② 飲酒後の見学はお断りします。
- ③ 工場内を安全に歩行頂くために、ヒールの高い靴、サンダル、草履などのご来場はお断りします。(ピンヒールなど危険と判断される靴での見学はできません。)
- ④ 許可なく機体(飛行機)及び各施設に近づいたり、触れたりする行為はお断りします。
- ⑤ 作業中の整備士には質問したり、話しかけたりしないで下さい。
- ⑥ 案内者(スタッフ)の指示に従わないなど、見学に不都合のある行動はお控え下さい。

(3) その他

- ① 見学ルートには屋外の通行もありますので、雨天時には各自雨具等のご用意をお願いします。
- ② 見学時、油等の汚れが付く恐れがありますので着衣にはご注意ください。
- ③ 写真・動画などの撮影は可能ですが、個人情報や肖像権保護の観点より、ブログ・HPへの掲載やインターネットなどへの投稿は堅く禁じております。また、スタッフより対象物に対し、撮影禁止の指示があった場合には速やかに従って頂きます。

9. 大会会場へのアクセス

大会1日目および2日目の会場である大阪工業大学梅田キャンパス「OITタワー」までは、JR「大阪」駅、阪急・阪神・市営地下鉄各線「梅田」駅、市営地下鉄「東梅田」駅から徒歩5分～7分程度です。

梅田の地下街から直接キャンパス内（地下2階）に入ることも可能ですが、非常にわかりにくいいため、地上経路からお越しいただくことをおすすめします。



1階の入り口は3か所ありますが、どの入り口から入っていただいてもかまいません。1階のフロアに入りましたら、フロア中央にあるエスカレータまたはレストラン横にある専用エレベータで2階にお上がりください。

10. 宿泊について

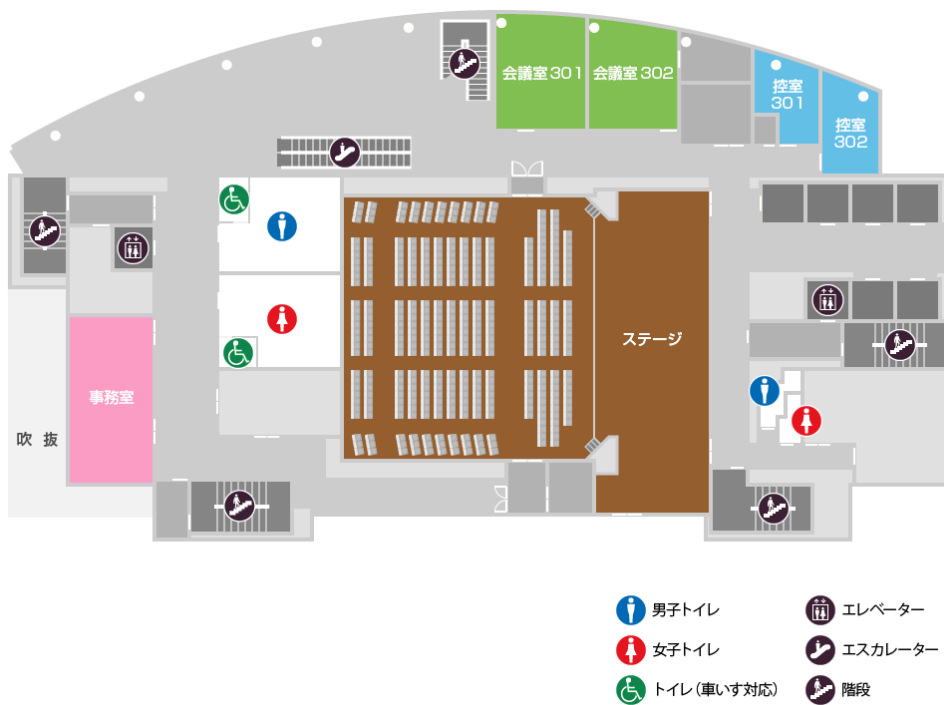
大会事務局では、宿泊先の手配は行いません。お手数ですが、各自で手配していただきますようお願いいたします。

大阪市内、特に会場がある JR 大阪駅および各線梅田駅近辺や、新大阪駅周辺は多くの宿泊施設がありますが、最近では国内外からの多くの観光客が宿泊されるために、学会期間中も宿泊の予約がたいへん困難になることが予想されます。大会に参加予定の方は、早めに宿泊先を確保いただきますようお願いいたします。

11. 会場案内図



大阪工業大学梅田キャンパス「OITタワー」2階



大阪工業大学梅田キャンパス「OITタワー」3階